

9月定例会

日本共産党議員団

8億円の基金と8億円の黒字を活用で 国保料引き下げの条例を提案



3年保育・預かり保育の実施こそ必要 大久保幼稚園の廃園計画は撤回を

市教委は大久保幼稚園を廃園して、現在4園の体制を3園に統廃合する方針を決めました。12月定例会に大久保幼稚園を廃園にするための議案を提案する意向を示しています。市教委の方針では、来年度の入園については4歳児、5歳児とも全園で受け付けますが、

再来年度は大久保幼稚園では4歳児の募集を停止し、5歳児だけで運営されます。5歳児が卒園した19年度末を持って大久保幼稚園を廃園する計画です。党議員団は、保護者ニーズの高い3年保育や預かり保育を実施することが必要であり、4園体制を維持す

るべきと主張してきました。一方で、他の会派からは「公立幼稚園の再編は必然」など、統廃合を推進する立場での声があがっていました。今回の廃園計画は、保護者からのニーズに配慮することもなしに、統廃合ありきで進められた計画です。

廃園を撤回して3年保育・預かり保育こそ実施するべきです。党議員団は、教職員の勤務条件は、子どもの教育環境にとっても大切なことであり、教職員の増員こそ、長時間労働の抜本的な対策であることを重ねて指摘しました。

市の国保会計は、8年連続で大幅な黒字が続いており、昨年度は8億3116

万円という近年で最大の黒字となっています。市は「医療費が増加し続ける」と

教職員の長時間勤務が看過できない状況になっています。ある中学校では、1ヶ

月80時間超の超過勤務者が53%、100時間超の超過勤務は44%にも達している

ことが、市の調査で明らかになりました。党議員団は早急な対策を求め、市教委は、「全校で出勤時刻調査をおこない、セルフチェックを通じたメンタルヘルス対策等を検討する」と答弁しました。

8年連続の大幅黒字 予算の立て方が間違っている

宇治市の国保料は府内15市の中でも最も高い水準です。国保料は、3つの要素（所得割、均等割、平等割）の合計額となりますが、「所得割」は府内15市で4番目、「均等割」は15市の平均より807円高く、「平等割」は

1番高くなっています。その結果、40代夫婦と子ども2人の4人家族で400万円（所得割、均等割、平等割）の給与収入がある場合の保険料は、51万8390円となり、収入の約13%を占め、支払いの限度を超えています。

長時間勤務

教職員の53%が過労死ライン勤務の学校も 教職員の増員で早急に解消を

党議員団は、こうした財源を活用して、「均等割」「平等割」をそれぞれ5千円引き下げ、保険料を4人家族で2万5千円引き下げる提案をしました。黒字の理由

は、公明などが反対して否決されました。

さらには、多くの市で実施している一般会計からの繰り入れをおこなえば長期に引き下げを維持することができると主張しました。条例案は、民進、自民、

支払い限度を超える保険料

宇治市議会9月定例会で、日本共産党議員団は国民健康保険料の引き下げ条例、補正予算から学校給食調理を民間委託する予算を削除する修正案などを提案しました。大久保幼稚園の廃園を進める一方で、太閤堤跡の歴史公園に88億円をかける市政に対して、市民の暮らしを守る論戦と積極的な提案をおこないました。

説明していましたが、国保会計の医療費の支出は減つ

4人家族で2万5千円の引き下げを提案 そのための財源は十分にある

ています。国保会計予算は、支出を過大に見込み、保険料などの収入を少なく見込んでたてられていることは、8年連続の黒字が証明しています。

は保険料を高くしすぎたため、取りすぎた保険料を還元するのは当然であり、4月にさかのぼっての引き下げを求めました。

日本共産党
宇治市会議員団
だより 2017.11・12

TEL 0774-22-3141 (市役所)
(内線2817 議員団室)
FAX 0774-24-7884

憲法9条改憲ストップへ市民のみなさんとの共同を広げます



みず たに たかのり 水谷 修



みやもと しげお 宮本 繁夫



やまざき きょういち 山崎 恭一



さかもと ゆうこ 坂本 ゆう子



わたなべ しゅんぞう 渡辺 俊三



やまざき たすく 山崎 たすく



おおたに なおゆき 大河 直幸

88億円の「歴史公園」の一方で 市民生活への支援は置き去り

宇治市の地方創生計画「人口ビジョン」では16年に18万7340人とする計画であったものが、実際は18万3711人と大きく下振れしています。人口減少が進み、市長のまちづくり計画に狂いが生じているからです。

環境が悪化しています。また、各種がん検診や健康診査の受診率が極めて低く健康長寿対策が遅れています。これらが人口減少の要因になっています。

ところが市は、88億円かけて太閤堤跡の歴史公園を作れば、定住人口が増えるなどの理由で多額の税金投入をしようとしています。

「歴史公園に大金をかければなぜ人口が増えるのか。保育所を建設せず待機児が急増し、臭い汚い学校トイレが放置され、中学校給食の実施が遅れるなど子育て

か」との党議員の質問に市は「(歴史公園を作れば)宇

治への愛着が深まり、ふるさと宇治を誇りに思う心を育むことが、将来宇治への定住促進に繋がる」と理由をつけています。

十分管理できず、すでに雑草が生い茂る「ススキ畑」と化し、党議員の指摘に慌てて草刈りをする始末です。茶園の管理もできない市に宇治の魅力が発信できるでしょうか。

札では、予定価格を上回る入札(「超過入札」)で不調になり、業者から見積もりを取り、予定価格を引き上げ、再度入札を行いました。市は、「不調になったのは、予定価格が市場動向を反映していなかったから」と来年度からの委託先を決める入札の予定価格を見直し、予算額を引き上げる補正予算を提出しました。

学校給食調理の委託 業者いいなりで予定価格をすりあげ

宇治小は、前回の契約額の3割アップだ。委託業者か

から見積もりを取れば、高値を言うのは当然だ」と指摘し、業者言いなりの予算額の引き上げに反対しました。昨年12月の大久保小の入

札では、民間委託を始めましたが69回の入札が行われましたが、「超過入札」で不調になったのは4回で、他は全て予定価格内で落札し、契約しています。

市は、予定価格を以前に引き上げた理由を「大規模校だったり、調理方法をドライシステムに変更したため」と説明していました。

学校トイレ改修完了は 先延ばし

第2次学校施設整備計画(08年度〜17年度、事業費50億円)は残り半年です。しかし、学校トイレ改修

は市内32校中13校が計画期間内で未実施です。市は、毎年2小学校1中学校の3校ペースでトイレ改修を

行っています。これでは、計画期間内に完了できず、21年度まで先延ばしになってしまう。

党議員は、3校ペースでなく、スピードを早めるべきと強く求めました。

党議員は、子どもへの影響を及ぼし住民サービスが削減される内容です。党議員は、初めに削減の目標ありきでは地域住民が培ってきたコミュニティが壊され、いっそう人口減少が進むと指摘し、計画は市民の合意で進めるべきだと追及しました。

京都市では実態調査と子どもの貧困対策の計画策定がおこなわれており、宇治市でも早急に実施するべきです。

20%の公共施設の 削減を計画

削減を計画

国は財政削減と人口減少を口実にして、地方自治体に公共施設の集約を求めています。宇治市でも、30年間で20%の公共施設を削減す

る「公共施設等総合管理計画」を策定しました。学校の統廃合、幼稚園の廃園、公民館や集会所等の廃止など、日々の市民生活に重大

な影響を及ぼし住民サービスが削減される内容です。党議員は、初めに削減の目標ありきでは地域住民が培ってきたコミュニティが壊され、いっそう人口減少が進むと指摘し、計画は市民の合意で進めるべきだと追及しました。

予定価格(予算額)と落札額 単位円

	14年12月実施		17年予定
	予定価格	落札額	予算額
菟道小	35,550,000	32,351,000	38,025,000
大開小	38,025,000	31,180,500	40,500,000
岡屋小	38,025,000	37,650,000	40,500,000
宇治小	52,575,000	43,369,000	62,925,000

子どもの貧困 実態調査と 対策計画策定を

14年に施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」では、地方公共団体は、当該地域の状況に応じた施策を策定し実施する

責務を有するとされています。党議員は、子どもの貧困の背景に何があるかを分析し、必要な施策をおこなうために、実態調査をおこなうとともに、対策計画を持つことを求めましたが、市は、「子どもの貧困対策に特化した対策を策定する予定はない」とこたえました。

党議員は、市の現在の施策は学習支援などに限られており、貧困で健やかな成長を阻害されている子どもの尊厳を守る施策がないと指摘しました。

森友学園・加計学園問題の真相解明を 求める意見書を提案

党議員団は「森友学園、加計学園問題についての真相解明を求める意見書」を提案しましたが、自民、公明に加え、国政野党だった民進も反対し、否決されました。

法律相談

毎月第一金曜日
午後2時から議員団控室
事前に議員にご連絡ください。

